





## 使用上のご注意

- NTFS フォーマットの USB HDD を接続し、共有モードで使用する場合、NTFS の各種属性（暗号ファイル、圧縮ファイルなど）には、対応しておりません。
- 設定画面で表示される HDD の使用領域と Windows からネットワークドライブに割り当ててプロパティから見た使用領域の値は大きく異なります。本製品で使用するファームウェアの表示における仕様で、HDD 側には問題はありません。
- Windows と Mac OS で共有する場合、Windows 上から見ると、見覚えの無いファイルやフォルダーが見える場合があります。これは、Mac OS で、ファイル（フォルダー）を作成した際に、他に別のファイル（フォルダー）が作成されるためです。このファイル（フォルダー）には、Mac OS ユーザー用の必要な情報が書き込まれていますので、削除しないでください。
- 本製品に AC アダプターと AC ケーブルを接続してから、電源を入れる際は5秒以上お待ちください。
- 本製品は、DHOP サーバーがある環境では、自動的に DHOP サーバーより IP アドレスが割り当てられるため、本製品の IP アドレスを設定する必要はありません。ただし、DHOP サーバーのない環境（パソコンにそれぞれ固定の IP アドレスを設定している環境）では、ネットワークに応じた IP アドレスを設定する必要があります。
- 本製品はローカルネットワーク上でご利用ください。また、インターネット経由でのアクセスにつきましては、「Remote Link 3」のみの動作保証となります。本製品にグローバル IP アドレスを割り当て、直接インターネットに公開すると非常に危険です。ルーターを設置するなどして、インターネットから攻撃を受けないようにするなど、お客様にてセキュリティ確保をおこなってください。
- 同じネットワークに本製品を複数台導入する場合は、本製品の [IP アドレス] を別のもにに変更する必要があります。
- 複数のパソコンを接続する場合は、ハブ（ルーターなど）が必要となります。
- 無線 LAN で接続する場合は、無線アクセスポイントと無線 LAN アダプターを接続したパソコンが必要となります。
- 本製品の時刻を正しく合わせておく必要があります。インターネットに接続可能な環境で、起動時にタイムサーバーと同期する設定でのご使用をおすすめします。
- 本製品の内蔵ディスクに非常に多くのデータが書かれている場合、本製品の起動時間が通常より数分長くなる場合があります。
- 録画中や STATUS ランプ点滅中に AC アダプターを抜いたり、本製品の電源を切らないでください。故障の原因になったり、データを消失するおそれがあります。
- 本製品に接続する USB HDD に複数のパーティションがある場合、本製品で使用できるのは本製品が認識可能な最初のパーティションのみとなります。
- ファイアウォールソフトをお使いの場合、本製品へアクセスできない場合があります。その場合、ファイアウォールソフト側で、137～139 番、445 番のポートにアクセス許可する設定をしてください。
- HDL2-AR シリーズは、RAID 対応 LAN 接続 HDD です。出荷時には、RAID 0（ストライピング）で構成されています。RAID 1（ミラーリング）で利用する場合は、設定画面から RAID モードの変更が必要です。
- HDL2-AR シリーズで RAID モードの変更やシステム初期化をする場合、内蔵ディスク内に保存されているデータはすべて消去されます。事前に、必要なデータは必ずバックアップしてください。

## 安全のために

お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

● 警告および注意表示	
	<b>危険</b> この表示の注意事項を守らないと、死亡または重傷を負う危険が生じます。
	<b>警告</b> この表示の注意事項を守らないと、死亡または重傷を負うことがあります。
	<b>注意</b> この表示の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

● 絵記号の意味	
	禁止
	指示を守る

## 危険

- 本製品を修理・改造・分解しない**  
火災や感電、破裂、やけど、動作不良の原因になります。

## 警告

- 雷が鳴り出したら、本製品や電源コードには触れない**  
感電の原因になります。
- ぬらしたり、水気の多い場所で使わない**  
火災・感電の原因になります。  
・お風呂場、雨天、降雪中、海岸、水辺でのご使用は、特にご注意ください。  
・水の入ったもの（コップ、花びんなど）を上に乗かないでください。
- 故障や異常のまま、つながない**  
本製品に故障や異常がある場合は、必ずつないでいる機器から取り外してください。そのまま使うと、火災・感電・故障の原因になります。
- 本製品の周辺に放熱を妨げるような物を置かない**  
火災の原因になります。

## 電源（ACアダプター・コード・プラグ）について

- ACアダプターや電源コードは、添付品または指定品のもの以外を使わない**  
電源コードから発煙したり、発火の原因になります。
- AC100V (50/60Hz) 以外のコンセントにつながない**  
発火、発熱の恐れがあります。
- 電源コードやACアダプターにものをのせたり、引っ張ったり、折り曲げ・押しつけ・加工などはしない**  
電源コードがよじれた状態や折り曲げた状態で使用しないでください。  
電源コードの芯線（電気の流れるところ）が露出したたり、ショートし、発火・感電の原因になります。
- ゆるいコンセントにつながない**  
電源プラグは、根元までしっかりと差し込んでください。根元まで差し込んでゆるみがあるコンセントにはつながないでください。発熱して発火の原因になります。
- 電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない**  
電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると電源コードに傷が付き、発火や感電の原因になります。

## 注意

- 本製品を踏まない**  
破損し、けがの原因になります。特に、小さなお子様にはご注意ください。
- 人が通行するような場所に配線しない**  
足を引っ掛けると、けがの原因になります。
- 長時間にわたり一定個所に触れ続けない**  
本製品を一定時間使うと、本製品が熱くなる場合があります。安全設定機関の仕様に基づいて設計されていますので、適切な使用環境で安全面での問題は起こりません。ただし、長時間にわたり一定個所に触れ続けると、低温やけどを起こす恐れがあります。

## 内蔵HDDの交換方法（HDL2-ARシリーズのみ）

内蔵 HDD に異常が発生した場合は、お客様ご自身で内蔵 HDD を交換することができます。以下の内容を充分にご理解の上で慎重に作業をおこなってください。

### 作業の前に

- RAID モードを RAID 0（ストライピング）でご利用の場合、以下手順をおこなってもデータの復元はできません。
- バックアップが可能な場合は、必ずデータをバックアップした上で作業してください。
- 交換用 HDD をお手元に準備してください。交換用 HDD は必ずオプション品の交換用 HDD をご使用ください。 オプション品の交換用 HDD については、表面の【HDL2-AR シリーズのオプション品】をご確認ください。
- プラス (+) ドライバーをご用意ください。作業に必要となります。
- 故障していない内蔵 HDD を交換した場合、すべてのデータが失われます。故障したドライブ番号を間違えないように充分ご注意ください。

### 内蔵HDDの交換方法

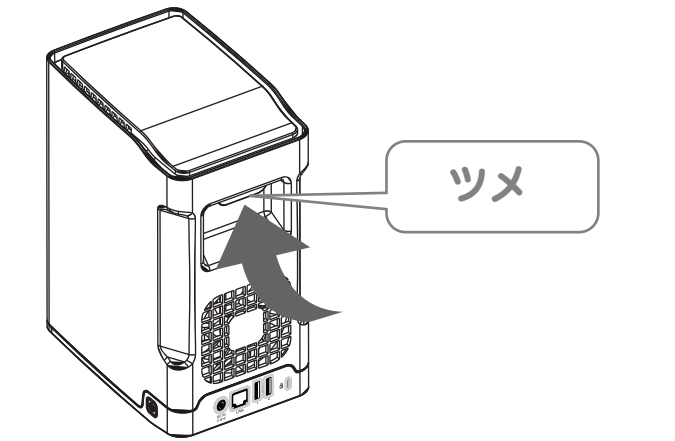
- 1 異常が発生した内蔵 HDD の番号をメモする  
※ランプの表示で確認できます。ランプの表示は、本紙表面【ランプ表示一覧】をご覧ください。

ご注意
故障していない HDD を交換した場合、すべてのデータが失われます。故障したドライブ番号を間違えないように充分ご注意ください。

- 2 電源ボタンを押して電源を切り、すべてのケーブルを抜く  
※電源の切り方は、別紙【導入ガイド】をご覧ください。

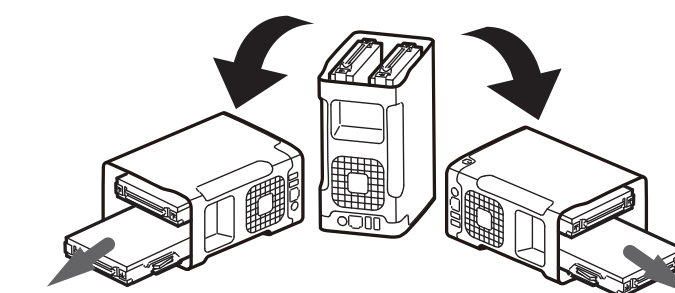
ご注意
動作中や電源を切った直後は、本製品表面が非常に熱くなっています。内蔵 HDD の交換作業は、充分に時間をおいてからおこなってください。

- 3 背面のくぼみにある上カバーのツメを押し上げ、上カバーを取り外す



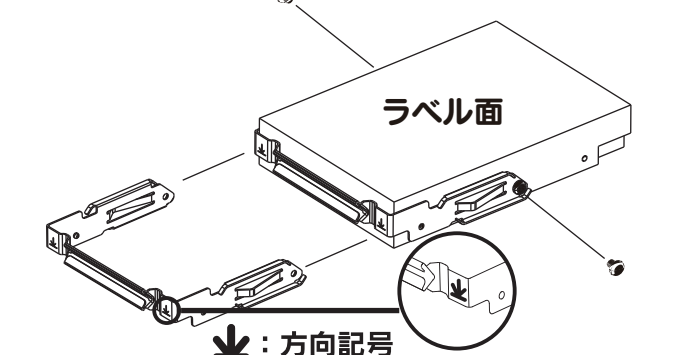
- 4 ①交換する HDD が下側になるよう、本製品を横に寝かせる  
下段の取手金具の方向記号の矢印が、下向きになるように寝かせます。  
※本製品背面を手前に置き、HDD1 の場合は右側へ、HDD2 の場合は左側へ寝かせます。

- ②交換する HDD の取手金具をつまみ、引き出す  
HDD を取り出す際には、多少力が必要です。



- 5 取り出した HDD の取手金具のネジ (2 本) をドライバーで取り外し、交換用 HDD に取り付ける

取手金具を取り付けるときは、HDD ラベルが上になるように置き、取手金具の方向記号の矢印が下向きになるように取り付けます。



## アフターサービス

### お問い合わせについて

お問い合わせいただく前に、 <b>以下をご確認ください</b>	
● 画面で見るマニュアルの【困ったときには】参照	
● サポートページの Q&A を参照	
● 最新のソフトウェアをダウンロード	
<a href="http://www.iodata.jp/support/">http://www.iodata.jp/support/</a>	

それでも解決できない場合は、 <b>サポートセンターへ</b>	
<b>電話：050-3116-3025</b> ※受付時間 9：00～17：00 月～金曜日（祝祭日をのぞく） <b>FAX：076-260-3360</b> <b>インターネット：http://www.iodata.jp/support/</b>	
< ご注意いただく情報 > 製品情報（製品名、シリアル番号など）、パソコンや接続機器の情報（型番、OS など）	

### 修理について

修理を依頼される場合は、以下の要領でお送りください。	
ハードウェア保証書またはお買い上げ時のレシート	メモ
	●氏名 ●住所 ●電話番号 ●FAX 番号 ●メールアドレス ●症状
	※メモの代わりに Web 掲載の修理依頼書を印刷すると便利です。
<b>〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地 株式会社 アイ・オー・データ機器 修理センター 宛</b>	

- 送料は、発送時はお客様ご負担、返送時は弊社負担です。
- 有料修理となった場合は先に見積をご案内します。（見積無料）金額のご了承をいただいてから、修理をおこないます。
- 内部にデータがある場合、厳密な検査のため、内部データは消去されます。何卒、ご了承ください。バックアップ可能な場合は、お送りいただく前にバックアップしてください。弊社修理センターではデータの修復はおこなっておりません。
- お客様が貼られたシール等は、修理時に失われる場合があります。
- 保証内容については、ハードウェア保証規定に記載されています。
- 修理品を送る前に製品名とシリアル番号（S/N）を控えてください。

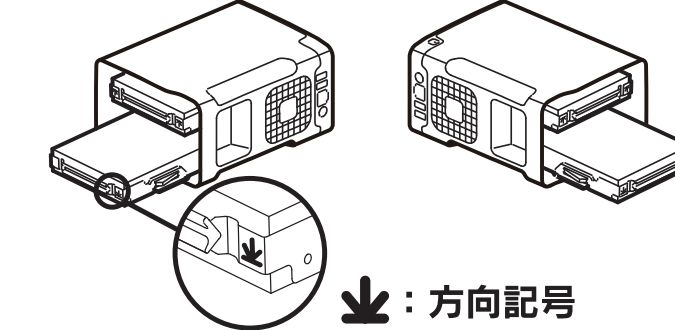
修理について詳しくは以下をご確認ください	
<a href="http://www.iodata.jp/support/after/">http://www.iodata.jp/support/after/</a>	

### 個人情報の取り扱いについて

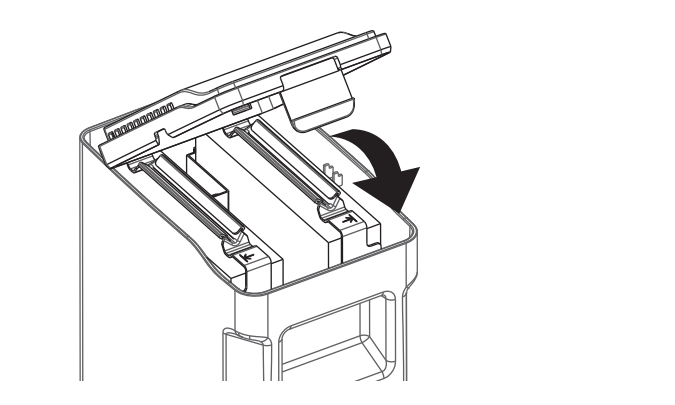
個人情報は、株式会社アイ・オー・データ機器のプライバシーポリシー（<http://www.iodata.jp/privacy.htm>）に基づき、適切な管理と運用をおこないます。



- 6 交換用 HDD の取手金具の方向記号の矢印が下向きになるよう注意し、本製品に差し込む  
※向きが逆になっている場合、コネクタが破損する場合があります。



- 7 本製品を起こし、上カバーを取り付ける  
上カバーは、前面から入れ、ツメが完全に装着するまで取り付けてください。



これで、内蔵 HDD の交換は完了です。この後、再度ケーブル類を取り付け、電源ボタンを押し、電源を入れます。

RAID 1（ミラーリング）でご利用の場合
自動的に修復作業（リビルド）が始まります。現在の構築状態は、設定画面上から確認することができます。設定画面左側の [ ディスク状況 ] → [ 状態 ] が「正常動作」となれば構築完了です。  ※RAID 構築までの所要時間は、約3時間となります。ネットワークに本製品（2TB バイトモデル）を接続し、ファイル共有などの操作をしない状態で測定した値です。（製品の容量に応じて、およそ比例した時間を必要とします。ご使用のモデルにあわせて目安としてください。）

RAID 0（ストライピング）でご利用の場合
本製品の設定画面からフォーマットしてください。フォーマット方法は、【画面で見るマニュアル】をご覧ください。

### 譲渡・廃棄の際のご注意

- データ消去ソフト等利用し、データを完全消去してください。情報漏洩などのトラブルを回避するために、データ消去のためのソフトウェアやサービスをご利用いただくことをおすすめいたします。 ※HDD 上のソフトウェアについて HDD 上のソフトウェア（OS、アプリケーションソフトなど）を削除することなく HDD を譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合があります。
- 本製品を廃棄する際は、地方自治体の条例にしたがってください。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。 VCCI-B
---

【使用ソフトウェアについて】
本製品には、GNU General Public License Version2, June 1991に基づいた、ソフトウェアが含まれています。 変更済みGPL対象モジュール、GNU General Public License、及びその配布に関する条項については、弊社のホームページにてご確認ください。 これらのソースコードを配布されるソフトウェアについては、弊社ならびにソフトウェアの著作権者は一切のサポートの責を負いませんのでご了承ください。

### 【ご注意】

- 1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
- 2) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関する設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意ください。
- 3) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に關し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。（This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.）
- 4) お客様が録画・録音したものは、個人として楽しむなどの場合は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 5) 著作権を侵害するデータを受信して行うデジタル方式の録画・録音を、その事実を知りながら行うことは著作権法違反となります。
- 6) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

【商標について】
●I/O DATAは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。 ●Microsoft、Windows、Windows VistaおよびWindows Serverは、米国または他国におけるMicrosoft Corporationの登録商標です。 ●Apple、Macは、米国およびその他の国で登録された米国Apple Inc.の登録商標です。 ●QRコードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。 ●その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。